

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：01 生き生きと学習できる教育基盤の充実

主管課長職・氏名	教育総務課長 久保 雪子
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 村田 浩隆

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが生き生きと学習できる、居心地の良い、安全・安心な教育基盤の充実に努めます。 ・少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ、中長期的な展望のもとに学校の適正規模の在り方についての検討に着手します。 ・就学機会を確保すべく経済的に困窮している世帯への支援を引き続き行うとともに、急速な情報化社会の進展に即応するために学校ICT化に向けた環境整備を進めます。 ・既存施設の修繕、長寿命化を図るなど維持管理に努め、教育基盤のより一層の充実を目指します。
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 学校トイレの環境改善率 単位 %	76.6	80	83	87	90.9	90.9	-
			0	-	-	-	-	0.0
2	幸福 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %以上	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	-
			0	-	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 05010100 居心地の良い教育環境の充実 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %以上	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	-
			0	-	-	-	-	0.0
2	暮らし 05010200 安全安心な教育施設の整備 学校トイレの環境改善率 単位 %	0	75	0	0	0	0	-
			0	-	-	-	-	0.0
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：01 生き生きと学習できる教育基盤の充実

主管課長職・氏名	教育総務課長 久保 雪子
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 村田 浩隆

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

基本施策目標における指標値は上昇傾向にありますが、具体の基本施策については、少子化、児童生徒の偏在化、経済的環境、校務の情報化、学校の施設・設備の老朽化等により、様々な課題があります。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・少子化が進展する中、市内小中学校の児童生徒の偏在化が認められます。
- ・経済的に困窮している世帯の割合が増加傾向にあります。
- ・現代の情報化社会、校務の情報化が進んでいます。
- ・学校の施設・設備の老朽化への対応（長寿命化）が全国的課題となっています。

(3) 政策との関連性

政策「一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち」を目指すため、基本施策は「教育基盤の充実」を進めます。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・市内における少子化、児童生徒の偏在を踏まえ、中長期的な展望のもと学校の適正規模の在り方について検討します。
- ・経済的に困窮している世帯が増加傾向にあり、就学機会の機会均等のための支援を継続します。
- ・情報化社会に対応した、学校ICT化に向けた環境整備のため、校務用PC配備に努めます。
- ・学校の施設・設備の老朽化への対応（改修、長寿命化）を進めます。
- ・学校は学びの場であると同時に、災害時の避難所機能も併せ持つことから、安全安心な教育施設の整備に努めます。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題

- ・経済的に困窮している世帯の就学機会の機会均等のための支援継続
- ・学校の施設・設備の老朽化に対応した安全安心な教育施設の整備
- ・学校ICT化に向けた環境整備のため、校務用PC配備

(3) 基本計画期間及び令和 2年度重点課題に基づく優先順位の考え方

・経済的に困窮している世帯の児童生徒の就学機会の確保のための支援継続、老朽化に対応した安全・安心な教育施設の整備について、いずれも喫緊の課題と捉えています。

